

【活動資料】 野外体験 ※職員での指導は行いません ※30名6人班小学校高学年想定

7 ドラム缶風呂

1 注意事項

- 水を温めるのに時間がかかります。
- 活動前に、水道・消火器・消火栓のいずれかの場所を確認してください。

2 期間 通年

3 目安時間（片付けを含む） 3時間（※湯わかし時間の目安は約1時間）

4 雨天時 人数と場所によっては活動可

5 場所 大門池広場・かがやきの広場・体育館下ピロティ（川辺）

6 準備物

- 自然の家にあるもの ドラム缶一式（ドラム缶・底敷き板・はしご）・U字溝・ホース
・皮手袋・お湯混ぜ棒・バケツ
（ホウキ・チリトリ・金バサミ ※現場備え付け）
- 準備していただくもの 濡れても良い服装又は水着・タオル・軍手・うちわ・火をつけるもの

7 活動の流れ

- ① U字溝を3つ（両側下向き・中央上向き）並べ、上にドラム缶を置く。
- ② ドラム缶の2/3くらいまでホースで水を入れる。
- ③ 中央のU字溝の中で火を起こし、水を温める。（温まるまでの目安は約1時間 ※季節により異なる。）
- ④ 温まったら、底用の敷板を入れ、はしごをかけて登り敷板を沈めながらお湯につかる。
※直接炎が当たる部分はかなり熱くなるので、火傷に注意。

8 片付け

- お湯が冷めたら、水路、川辺または草むらに水を捨てる。（地面に直接流すと土がえぐれるので×）
- 灰は指定のドラム缶へ捨てる。 ○掃除をする。 ○道具を返却する。

9 イメージ写真

